

精進します



理事長

渡邊 和美

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

旧年中は依田窪福祉会に対しまして心温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ご承知の通り、昨年4月に施行されました社会福祉法人制度改革によって評議員、役員(理事・監事)の役割が大きく変わりました。経営組織のガバナンスの強化や財務規律の強化、そして、地域における無料・低料金での積極的サービス提供などの実施などですが、法人としては研修等を重ねながら鋭意努力してまいりました。

経営的には、2015年の介護報酬の減額改定2.27%(在宅▲1.42%、施設▲0.85%)の影響により厳しさを増しております。平成28年度介護事業実態調査結果によりますと特別養護老人ホームの収支差率は1.6パーセントでありましたが、当法人の収支差率は2.0%と若干上回っていますが、全事業所で見ますと国全体平均3.3%に対して当法人はマイナス4.3%と大幅に落ち込んでおり、余裕がない状況となっております。

その流れの中、昨年12月18日に報道されています2018年度介護報酬、障害者福祉サービス等の改定率が決定され、本年4月から介護報酬改正が行なわれますが、全体でプラス0.54%、障害者福祉サービス0.47%、サービスの質の評価に関連して1%程度プラスする一方、通所介護、生活援助の回数を制限するなど給付の適正化で0.5%引き下げを打ち出しています。

職員一人ひとりがこうした難局と介護福祉の様々な状況を理解し、積極的に経営改善に努め、同時にサービス提供方法等の見直しによって、より質の高いケアが出来る環境作りと介護福祉に対する高い志と熱意を結集して対応してまいります。

最後に、依田窪福祉会は地域の高齢者福祉向上のため、職員の意識を高めるよう努力項目を設定しました。

☆ 地域の皆様に対しましては、次の2項目を。

- 1、ご利用者・ご利用者家族に喜んでもらえるよう
- 2、地域の方々のお役にたてるよう

☆ 職員には、次の5項目を。

- 1、職員自ら動くよう
- 2、常にサービス内容等について改善するよう
- 3、改善等に対する失敗を怖がらないよう
- 4、現実を認め正しい方向に誘導するよう
- 5、最新の制度を理解し、現実を判断できるよう

☆ 法人としては、職員・職員家族に喜んでもらえるよう 以上。

今年も職員一同、ご家族の皆様、ボランティアの皆様、そして地域の皆様と一緒に、住み慣れた地域で安心して暮らせ、地域に根ざした施設・事業所となるように精進をして参ります。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

老いの日えいちを生きる叡智

【老後の一時間、一日というものは実に大事だ。その大事な一日を「ああ、いいことをしたな」と思って暮らすかどうか、人生の幸不幸の決まる所だ。】

(出光佐三、出光興産創業者)

特別養護老人ホーム ともしび

ボランティアさん、さつき会の皆様、いつもありがとうございます

ともしびには、ご利用者のご家族でつくっている「さつき会」という家族会があります。さつき会の皆様には、施設内清掃や障子貼り外回りの整備などを、年に2回、行なっていただいています。さつき会主催の小旅行や新年会もあり、ご利用者と職員も参加しています。

12月2日に行なわれた年末恒例のもちつき会も、ご家族の皆さんにご協力をいただきました。職員では腰に力が入らず頼りないつき方でしたが、さつき会の皆様にご指導していただき、しっかりとした美味しいお餅がつきあがりました。



もち米は、武石産を使わせていただきました。お餅のように、今年もまた粘り強くなることができそうです。

12月11日には、いつもお世話になっているボランティアの皆様と、食事会をしました。この日は、上田「寿司寅」さんが握ってくださる「お寿司の日」でした。いつもはそれぞれの活動をしているボランティアの皆さんですが、この日はいっしょにお寿司を楽しんでいただきました。お話しも弾み、和やかなひとときでした。



募集中

ともしびでは、洗濯物たたみ、シーツ交換、ご利用者とのお話、お茶や食事の準備、などのボランティアを募集しています。「できることを地域に活かす」というお気持ちを頂戴しています。

依田窪福祉社会居宅介護支援事業

地域の「会」について

先日、会議がありご利用者の自宅に訪問しました。その時に「私も火・木・土と行くことができる場所ができたよ。」と嬉しそうに話をしてくださいました。そういえば「地域で行われた会に出席した時、同じ地域の人で集まろうという話になった。」と以前言われていたことを思い出しました。行くことができる場所とはそこだったので。地域のつながりが少なくなっている今の時代、地域の方々と交流できる場ができることはとてもいいことですね。

私たち介護支援専門員が知らないことが多い、地域の集まりの「会」。自分の地域にはどの

ような「会」があるのかを知るためにもぜひ地域で行われる「会」にでかけ、参加者の方に情報をもらってください。そしてそこに出かけてください。多くの人とおしゃべりや、カラオケで大きな声を出して来てください。

皆さんがしてみたいと思うことを支援できる介護支援専門員でありたいと思っています。



寄り合い処からさわ

寄り合い処からさわ!?

皆さん、おしゃれをして出掛ける所はありますか？
誰かとたくさんおしゃべりをして大きな声で笑うこと、最近ありましたか？

近所の人はわかるけれど、地域の人でもあまりご存じない方って実は大勢いますよね。顔は見たことがあるけれど、話をしたことはないわ…なんてこともあるのではないのでしょうか。

地域の中でも、ここ「寄り合い処からさわ」をご利用されていないければ気付かなかった素敵な出会いがありました。

「一期一会」という言葉がありますが、週に一度だけ営業しているからさわも、その時、一瞬一瞬が「一期一会」になります。

「一期」とは、私たちの生涯。「一会」とは、ただ一回の出会いです。

毎週違った出会いを大切に、「寄り合い処からさわ」＝「寄り合い処からさわ」として、素敵な出会いができる場所となるよう取り組んでいきます。

今後もいい出会いができるように地域の皆様をお待ちしております。

ヘルプーステーションこすもす

「あなたに会えてよかった」

現在、「ヘルプーステーションこすもす」では、長和・武石・丸子地域で約90名ほどのご利用者がいます。

一人で90名のお宅全部を訪問することは難しく、職員によってはまだお会いしたことのないご利用者もいます。

年末に入院されていた、あるご利用者が退院して自宅へ戻られました。

私達ヘルパーは、退院に合わせ一日に3回訪問に入る予定になっていました。

朝、8時にお宅へ伺うと、ご利用者はベットから出て暖房がつけられず、寒い中に1人でいらっしゃいました。

至急別に暮すご家族へ連絡し、事なきを得ることができました。

今後、高齢者の一人暮らしは更に増えると予測されます。

住み慣れた家で暮らし続けられるよう、ヘルプーステーションこすもすがサポートします。

平成30年度 職員募集 (介護・看護)

平成30年度(平成30年4月1日採用)の介護職員・看護職員を募集しています。

詳細は、依田窪福祉会ホームページ「職員募集」をご覧ください。

- 希望される方は法人本部(電話85-2202)
担当 西澤・岡村までお問い合わせください。



グループホーム和田・デイサービスセンター橋場なごみや



認知症は誰にでも起こりうる脳の病気によるものです。
加齢による筋力の低下もこれ然り…



自分の思ったようにできないことは、はがゆいものです。
それを一番感じているのは、ご本人。
私たちはその方の「できる力」に着目します。
「あれもできなくなった」「これもできなくなった」
いいえ、



「まだこれは出来る!」「こんなこともできる!!」
できる力を発揮することは、前向きな気持ちに繋がります。
自然と笑みが溢れます。



「こんな歳まで生きてるもんじゃないな」なんて言わせません



「こんな歳になってもまだまだ長生きしたい!」
そんな風に感じていただける場所を提供してゆきます。



会者定離

だからこそ、私たちはひとつの出会いを大切に、
ご利用者・ご家族・地域の皆さんと共に在りたいと思っています。

デイサービスセンター 和田 かわら版

布団の中よりあったかいところ

お茶を飲みながら、ご利用者さんが話してくださいました。「寒いからねえ 朝飯すませてまた布団にもぐっちゃってね、行くのが嫌になるんだよ。でも家の者もいっといでって言うからこうして出てこれるんだよ」「ヘルパーさんが、(訪看さんが・ケアマネさんが…)カレンダーに丸をつけてくれてるからね、その○を見て明日はデイサービスでみんなに会えるって。楽しみでね。うちに1人でのいるよりずっといい」「迎えに来てもらって、お風呂にはいって、ありがたいよ」

ご利用者がこうしてここに来てくださるまでには、いろんな方が後押しをしてくださっています。有難いことです。要介護、要支援一人ひとり状況は違いますが、ここに来て一人ではないということ、人の中にいるということが自分の存在を感じる見えないパワーになっているのではないのでしょうか。寒い冬です。こころもからだもデイサービスで温まっていたきたいと思います。



小規模多機能型居宅介護 大門の家

地域の方の困ったときにお答えできる事業所

- ・車の運転が出来なくなって外出ができなくなってしまった。
- ・買い物ができない。
- ・急に体調が悪くなってしまった。

など地域の方、特に一人暮らしの方の困りごとはたくさんあると思います。そんな地域の方の困りごとに柔軟に対応できる事業所が大門の家です。

通所や訪問のサービスだけでなく、その方の地域での生活を継続するための宿泊や、外出なども行っています。最近では外出支援のお話が増えてきました。

その方の今まで生活や趣味を活かすため、図書館やスーパー、銀行など目的地は最初の契約の段階で

決め、計画書に入れています。

「大門の家があるから地域での生活が継続できる」そんなご利用者の困りごとを一つでも減らす事ができたらと思います。

大門の家でも書初めをしたり、おせち料理を出し、正月気分を味わいました。



新蕎麦を味わう会 ～鳥屋～

鳥屋地域の方にお願ひして新蕎麦を打っていただき、地域の方との交流忘年会を開催しました。参加者25名で盛大に乾杯!

「今年も楽しみにしていたわよ」「家の漬物たべてみて」とご近所さん。

「今日はごっそうがいっぱいだね」「新そば美味しい。おかわりしていいかい?」とご利用者。

気楽にお話やカラオケをして、賑やかな楽しいひと時でした。

デイ鳥屋は地域にとって身近な存在でありたいと思います。いつでもお気軽にお立ち寄りください。



社会福祉法人 依田窪福祉会 事業別連絡先一覧

●法人本部 ☎85-2202
[E-mail] info@yodakubofukushikai.jp
[U R L] http://www.yodakubofukushikai.jp/

●依田窪特別養護老人ホーム } ☎85-2218
●短期入所生活介護事業 }
●依田窪福祉会居宅介護支援事業 ☎85-2047
●ヘルパーステーションこすもす ☎85-0098

●寄り合い処 からさわ ☎85-2115

●デイサービスセンター 長門 ☎68-0226
●デイサービスセンター 鳥屋 (宅老所) ☎85-0010
●小規模多機能型居宅介護 大門の家 ☎41-2123

●デイサービスセンター 和田 } ☎88-0077
●高齢者生活福祉センター }
●配食サービス事業 あやちゃん弁当 }

●グループホーム和田 } ☎88-0088
●デイサービスセンター橋場なごみや }